

令和2年度上半期 予算執行状況(4月1日～9月30日)

一般会計

款	予算現額	収入済額
国庫支出金	216億6,190万円	172億2,483万円
市税	213億7,400万円	127億2,257万円
市債	95億5,180万円	0万円
繰入金	35億2,626万円	0万円
県支出金	35億861万円	5億4,554万円
地方交付税	34億5,414万円	23億1,952万円
地方消費税交付金	30億2,000万円	17億1,040万円
繰越金	8億7,912万円	23億6,125万円
諸収入	7億2,726万円	1億3,511万円
材料及び手数料	6億3,955万円	3億982万円
その他	14億5,102万円	6億5,016万円
計	697億9,366万円	379億7,920万円

款	予算現額	支出済額
総務費	198億5,201万円	156億1,972万円
民生費	189億4,750万円	80億6,211万円
教育費	93億5,306万円	23億4,901万円
土木費	64億5,341万円	24億5,589万円
衛生費	61億9,423万円	15億1,771万円
公債費	41億6,749万円	20億3,195万円
消防費	17億6,478万円	6億7,488万円
その他	30億6,118万円	14億6,299万円
計	697億9,366万円	341億7,426万円

特別会計

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	122億6,900万円	54億7,844万円	44.7%	46億2,476万円	37.7%
介護保険	95億4,409万円	42億8,711万円	44.9%	38億2,385万円	40.1%
後期高齢者医療	36億3,233万円	17億3,642万円	47.8%	14億785万円	38.8%
稲沢西土地区画整理事業	6億1,505万円	4億4,131万円	71.8%	1億6,612万円	27.0%

企業会計

会計名	科目	予算現額	収入済額	支出済額	執行率
病院事業	収益的	収入	73億3,575万円	31億3,611万円	42.8%
		支出	77億7,767万円	31億206万円	39.9%
	資本的	収入	3億9,847万円	1億4,527万円	36.5%
		支出	5億2,832万円	2億3,727万円	44.9%
水道事業	収益的	収入	26億3,979万円	11億8,364万円	44.8%
		支出	23億9,436万円	10億1,995万円	42.6%
	資本的	収入	7億9,328万円	1億5,354万円	19.4%
		支出	30億1,958万円	9億1,810万円	30.4%
公共下水道事業	収益的	収入	18億6,649万円	9億3,344万円	50.0%
		支出	18億6,649万円	8億9,008万円	47.7%
	資本的	収入	26億6,984万円	4億1,150万円	15.4%
		支出	34億5,511万円	13億316万円	37.7%
集落排水事業	収益的	収入	2億9,491万円	1億4,643万円	49.7%
		支出	3億6,560万円	1億4,499万円	39.7%
	資本的	収入	7,938万円	4,019万円	50.6%
		支出	7,938万円	3,199万円	40.3%

病院事業 業務量

患者数(入院)	28,532人(1日当たり155.9人)
患者数(外来)	59,399人(1日当たり486.9人)
計	87,931人
外来診療日数	122日
許可病床数	320床
稼働病床数	242床

※1日当たりの患者数(外来)は、患者数(外来)を外来診療日数で割った数

水道事業 業務量

給水栓数	58,202栓
配水量	7,742,444m ³
給水量	7,195,019m ³
県水受水量	3,333,159m ³
有収率	92.9%

公共下水道事業 業務量

総排水量	2,862,246m ³
1日平均排水量	15,641m ³

集落排水事業 業務量

総排水量	416,085m ³
1日平均排水量	2,274m ³

令和元年度決算 健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、市の財政状況が健全かどうかの目安となる「健全化判断比率」(実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率の4つの指標)と「資金不足比率」の公表を義務付けています。令和元年度決算で算定した各指標は、国が定めた基準を全てクリアし、市の財政状況は健全であるという結果となりました。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	-	-	3.2%	-
早期健全化基準	11.87%	16.87%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	-

※実質赤字比率・連結実質赤字比率の「-」は、赤字額がないことを示す
※将来負担比率の「-」は、将来負担額を充当可能財源等が上回っており、実質的な将来負担額がないことを示す

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
稲沢西土地区画整理事業特別会計	-	20.0%
病院事業会計	-	
水道事業会計	-	
公共下水道事業会計	-	
集落排水事業会計	-	

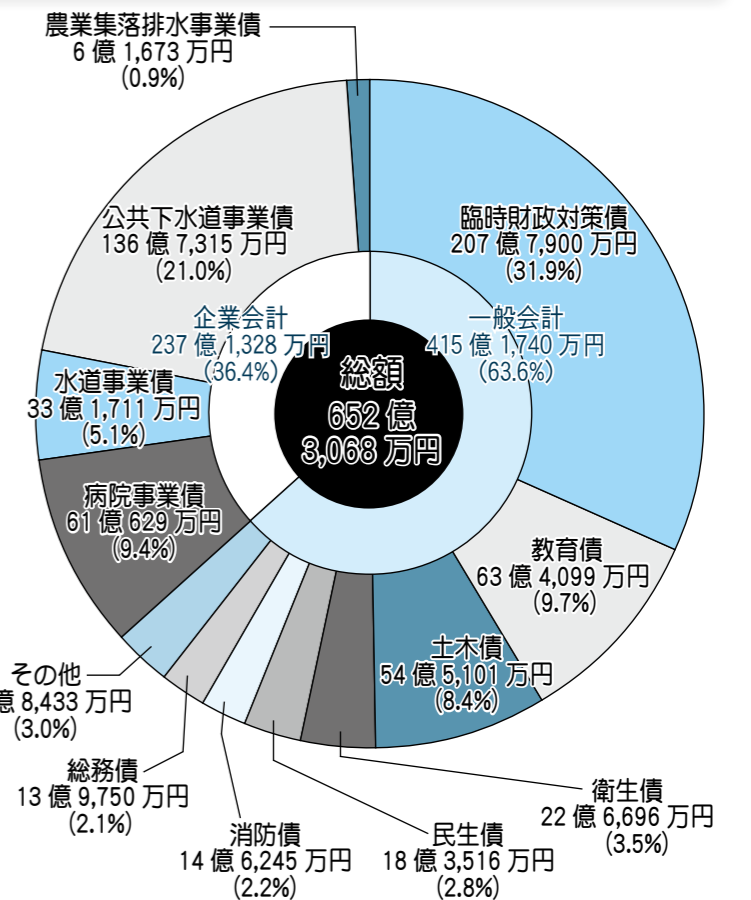
※資金不足比率の「-」は、資金不足額がないことを示す

市債の現在高(令和2年9月30日現在)

市債は、市民生活の基盤である道路や上・下水道、公園、学校などを整備するときに国などから長期間にわたって借りのお金です。これらの施設は後の世代に引き継がれるものであるため、建設費用を借入金の返済という形で長期間に分割して後の世代にも負担を求め、世代間の負担を公平にするという役割も持っています。

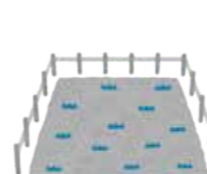
一般会計 借入先	借入額	割合
財務省	223億3,123万円	53.8%
市中銀行、その他金融機関	129億8,456万円	31.3%
地方公共団体金融機構	35億1,828万円	8.5%
(株)かんぽ生命保険	18億7,717万円	4.5%
(株)ゆうちょ銀行	7億4,498万円	1.8%
愛知縣市町村振興協会	6,118万円	0.1%
計	415億1,740万円	100%

※市民1人当たりの市債額は約30万円です



市有財産の状況(令和2年9月30日現在)

【土地】



1,719,245.36 m²

【建物】



399,628.39 m²

【基金】

財政調整基金 42億3,043万円
 その他特定目的基金 102億3,508万円
 (都市基盤整備基金(34億3,593万円)、公共施設整備基金(13億2,463万円)、介護給付費準備基金(9億566万円)、福祉基金(7億9,355万円)、職員退職手当基金(6億6,562万円)など)
 土地開発基金
 現金 6億925万円、土地 4,669.34m²
 ※市民1人当たりの基金額は約11万円です

市勢の状況

人口 136,315人
 世帯数 55,471世帯
 面積 79.35 km²
 (令和2年9月30日現在)

